

東京都北区新庁舎建設基本計画 中間のまとめ説明会等 実施報告

【はじめに】

区では、平成 29 年度に国立印刷局王子工場用地の一部を新庁舎建設予定地として選定したことから、「東京都北区新庁舎建設基本計画」（以下「基本計画」という。）の策定に着手しました。

基本計画は、「東京都北区新庁舎建設基本構想」で定めた内容を出発点として、各項目について選択と具体化を図り、次の設計段階を円滑に推進するためのものです。

令和 4 年度末の策定に向けて、区民の皆さまに現在の検討状況を報告し、ご意見をいただき、検討の参考とするため「中間のまとめ説明会」「Web アンケート等」を行いましたので、その結果を報告いたします。

【中間のまとめ説明会】

<日時・会場・参加者数>

| 日時 | 会場 | | 参加者数 | |
|-------------------------|-------|-------------------|------|-----|
| 4月13日（水） 18:30～19:30 | 滝野川会館 | 3階 301・302 会議室 | 12名 | 63名 |
| 4月16日（土） 9:30～11:40 | 北とぴあ | 7階 第2研修室 | 31名 | |
| 4月18日（月） 18:30～19:50 | 赤羽会館 | 4階 小ホール | 20名 | |

<説明方法>

配布資料「東京都北区新庁舎建設基本計画 中間のまとめ」を使用し、スクリーンにスライド資料を投影して説明しました。

<流れ>

- ・挨拶 (約 10 分)
- ・新庁舎担当から説明 (約 30 分)
- ・質疑応答及びアンケート回答 (約 20～40 分)

<配布資料>

- 東京都北区新庁舎建設基本計画 中間のまとめ説明会 受付票
- 新庁舎建設基本計画中間のまとめアンケート
- 東京都北区新庁舎建設基本計画 中間のまとめ 本文
- 東京都北区新庁舎建設基本計画 中間のまとめ 概要版
- 北区ニュース R4.3.20 特集号 新庁舎特集
- 説明資料のスライド

<会場設置資料>

- 東京都北区新庁舎建設基本構想
- 東京都北区庁舎のあり方について 報告書
- 北区ニュースバックナンバー（H21.12.15、H23.3.25、H23.12.20）
- 新庁舎建設予定地の選定について 実施結果（パブリックコメント）
- 新庁舎建設区民ワークショップ～北区らしさってなんだろう？～実施概要
- 第1回王子駅周辺まちづくりガイドライン検討会 現況編、計画編
- 第2回王子駅周辺ガイドライン策定検討会 計画編②
- 王子駅周辺まちづくりランドデザイン
- 東京都北区洪水ハザードマップ ～荒川が氾濫した場合～
- 東京都北区洪水ハザードマップ
～隅田川・新河岸川・石神井川・神田川がはん濫した場合～



<主な質問と回答>

※以下参照ページ数が記載されている資料は、特記なき限り「東京都北区新庁舎建設基本計画 中間のまとめ 本文」です。

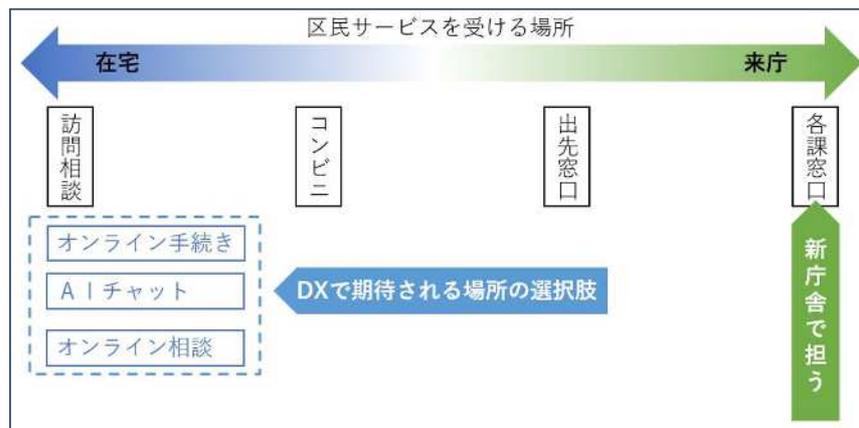
■基本的な考え方

◇これからの庁舎の役割と北区らしさについて

Q：令和 15 年度開庁を目指す中で、10 年余りの期間がある。DX も進んでいることが想定されるがどう考えるか。新庁舎規模を小さくはしないのか。

A：DX の進展に、新型コロナウイルス感染症の経験から、行政サービスの改善、テレワーク等柔軟な対応が必要となっています。また、令和元年度に行われた「区民ワークショップ」を通じて、区民と行政職員の顔が見える関係を大事にしたいと考えています。区民サービス機能として、新しい技術や制度の活用が進み、将来的に窓口が不要になる部門もあるとは考えられますが、一方、現状多様化している行政需要に応えるためには、プライバシーに配慮した相談スペース等は増加すると考えられます。柔軟性を備えるためにも規模の縮小は考えておりません。
(P.6、P.19、P.48・49)

新庁舎が担うサービスの捉え方



執務スペースの柔軟性のイメージ（抜粋）

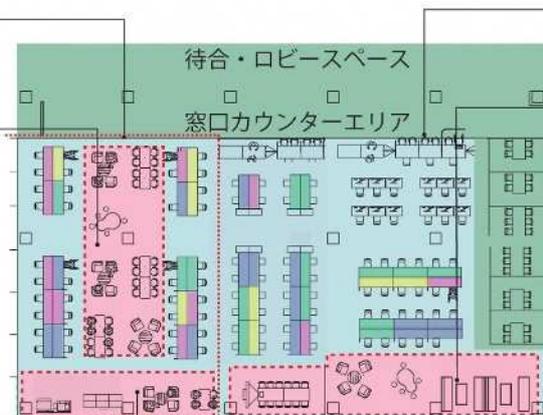
一般執務スペースと分離したバックオフィスを設け、仕事の内容やセキュリティへの対応により使い分ける

集中ブースやICTを活用した打合せスペース等多様なワークスペースの選択が可能



(経済産業省)

更なるペーパーレス化によるキャビネットやコピー機の削減



オンライン化による窓口削減と区民利用スペースの充実

袖机ワゴンを廃止、端末と最低限の書類のみを収納するパーソナルロッカーを設置しフリーアドレスを導入。組織単位に捉われないコミュニケーションを誘発



(大田区)

■建設予定地と王子駅周辺まちづくり

◇建設予定地の概要について

Q：なぜここに建てるのか。

A：基本構想時点で想定されていた新庁舎規模を建設でき、仮移転等の追加費用が発生せず、駅前で来庁者にとって利便性が高く、さらに周辺地域のまちづくりへの波及効果が期待される場所として、選定しました。平成29年度には、国立印刷局と売買契約に向けた協定書を締結しており、その協定に基づいて売買契約に向けた準備を進めております。（P.1）

建設予定地の位置



Q：高台に候補地はなかったのか。

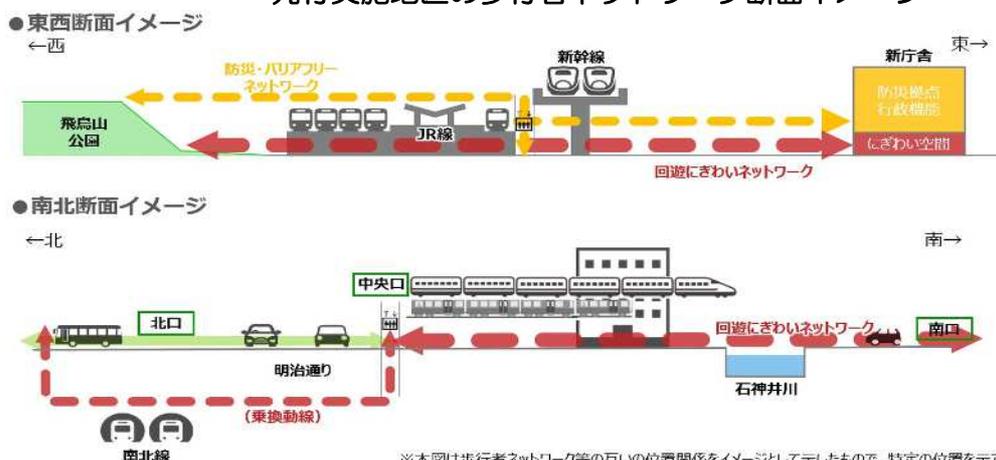
A：新庁舎建設予定地の検討をした結果、高台部分では、新庁舎規模の建設が可能な候補地がございませんでした。（P.1）

◇王子駅周辺まちづくりについて

Q：防災・バリアフリーネットワークについて詳細に教えてほしい。

A：「王子駅周辺まちづくりガイドライン」の検討イメージで、新庁舎と飛鳥山公園をつなぐ、防災・バリアフリーネットワークを検討しています。実現に向けては、現在協議、検討中です。（P.13）

先行実施地区の歩行者ネットワーク断面イメージ



※本図は歩行者ネットワーク等の互いの位置関係をイメージとして示したもので、特定の位置を示すものではありません。

（王子駅周辺まちづくりガイドライン検討会資料より）

Q：王子駅周辺には老朽化した民間施設等もあり、そちらの建て替えと時期が重なると、新庁舎建設が遅れてしまうのではないかと。周辺地域を巻き込んで進めていってほしい。

A：王子駅周辺のまちづくりについては、現在「王子駅周辺まちづくりガイドライン」の策定に向けて検討中です。新庁舎の計画とも、連携して進めていく予定です。（P.12～14）

■新庁舎の機能と性能

◇防災拠点機能について

Q：新庁舎建設予定地は、荒川氾濫時の浸水想定区域にある。洪水が起きた場合、新庁舎が機能しなくなってしまうのではないかと。

A：水害については、建設予定地が抱えるリスクとして認識しています。防災拠点機能として、災害対策本部を設置できるようにし、新庁舎が機能しない場合の代替施設も想定しています。また、業務継続性として、止水板の設置や、災害対策本部や機械室を非浸水階に設置することで、必要な業務が継続できる新庁舎とします。（P.7、P.15～18、P.36・37）

◇複合化する機能について

Q：現在分散した建物を新庁舎に集約していくといった記載があるが、保健所に関しては複合化しないで現在の東十条のままか。

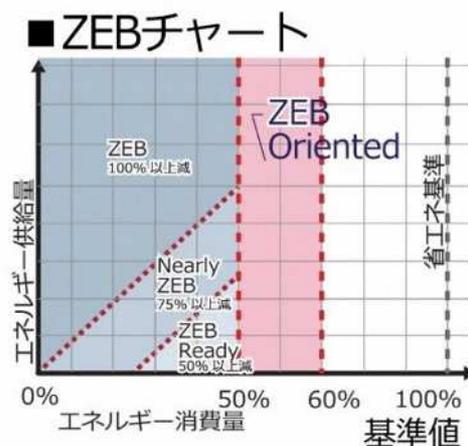
A：複合化する機能として、保健所は対象としないことを基本としていますが、一部事務機能を新庁舎に含める可能性等について、今後検討していきます。（P.31）

■新庁舎に必要な性能

◇環境性能について

Q：環境性能に配慮することは分かったが、ゼロカーボンについてはどう考えているのか。

A：北区は「北区ゼロカーボンシティ宣言」を表明しています。環境性能については、「ZEB Oriented」達成を目標とします。今後の技術の革新等によっては更なる創エネ、省エネを目指します。（P.32・33）

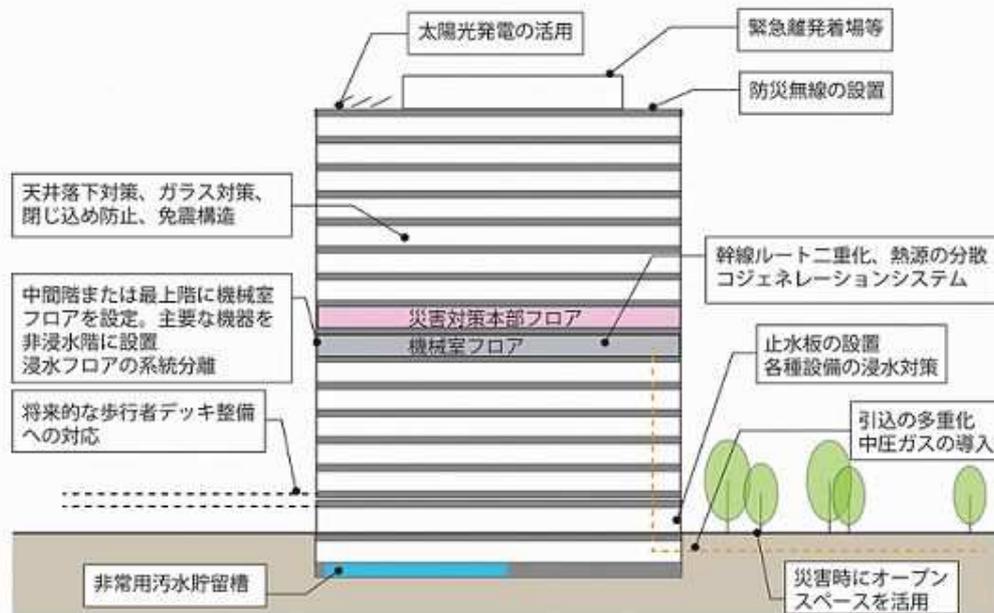


◇耐震性について

Q：耐震に関する構造形式について、免震建物や制振建物があるがどれを取り入れるか。

A：耐震性能は、大地震が発生しても構造体を補修することなく使用できることを前提としていますが、構造形式は未定です。どの構造形式が新庁舎に適しているか、設計段階で選定を行います。（P.34・35）

業務継続性の整備イメージ



■施設計画

◇施設整備イメージ・基準階について

Q：何階建てを想定しているか。

A：記載されている新庁舎断面図は、イメージであり想定階数は未定です。しかし、敷地面積、基準階等から、最低 10 階建て以上になるであろうと考えられます。（P.48～53）

■その他

◇事業全体のスケジュールについて

Q：開庁予定が 11 年後とのことだが、なぜここまで時間がかかるのか。

A：事業スケジュールは、基本計画策定時に提示予定です。なお、建設予定地は、国立印刷局王子工場用地の一部であり、国立印刷局では、工場を操業しながら施設を集約し、それによって空いた土地を北区が購入することになっています。土地の引渡しについては、令和 10 年度以降になる見通しです。（P.1、P.11）

Q：設計や工事の契約発注方式は、従来方式（設計・施工分離発注）なのか。

A：設計や工事の契約発注方式は、基本計画策定時に提示予定です。従来方式以外の方法も検討していきます。

◇概算事業費と財源について

Q：事業費、土地購入費はいくらか。また財源は何か。

A：事業費、財源は、基本計画策定時に提示予定です。なお、庁舎規模の拡大や、物価、労務費の増額等により「基本構想」で提示したものより、増額することが想定されます。

Q：豊島区役所のように高層階に集合住宅を設け、財源とする案は考えているか。

A：豊島区役所のようなケースでは、周辺の建物を含めたエリア全体を敷地とし、市街地再開発事業等の手法により進めていくことが考えられます。そのためには、地権者のほか、関係者との合意形成に相当の時間がかかることが想定されます。また、区分所有により施設の管理が複雑化すること、施設の規模に限りがあること等の理由により、北区では考えておりません。

【Webアンケート等】

<アンケート実施概要>

| 日時 | 方法 | 回答件数 | |
|---------------------------|--------------|------|------|
| 3月22日(火) ～ 4月28日(木) | WEB回答 | 158件 | 194件 |
| | 郵送、ファクス、Eメール | 3件 | |
| | 説明会場での回答 | 33件 | |

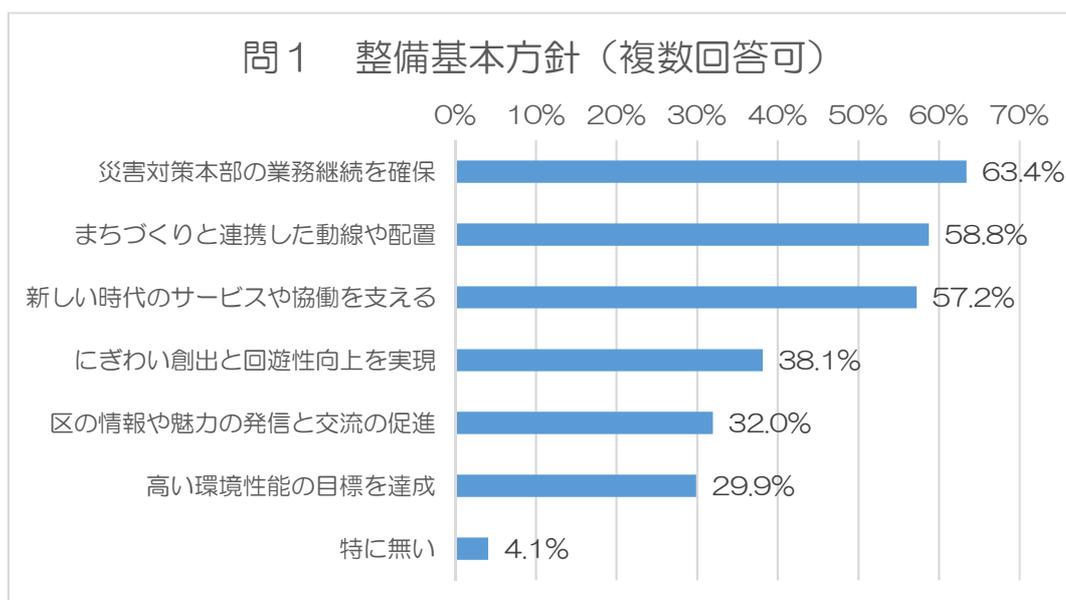
※設問により、一部未記入の回答あり

<アンケート集計結果>

■基本的な考え方

◇問1 整備基本方針

今回設定された6つの整備基本方針で、共感できるものを教えてください。(複数回答可)



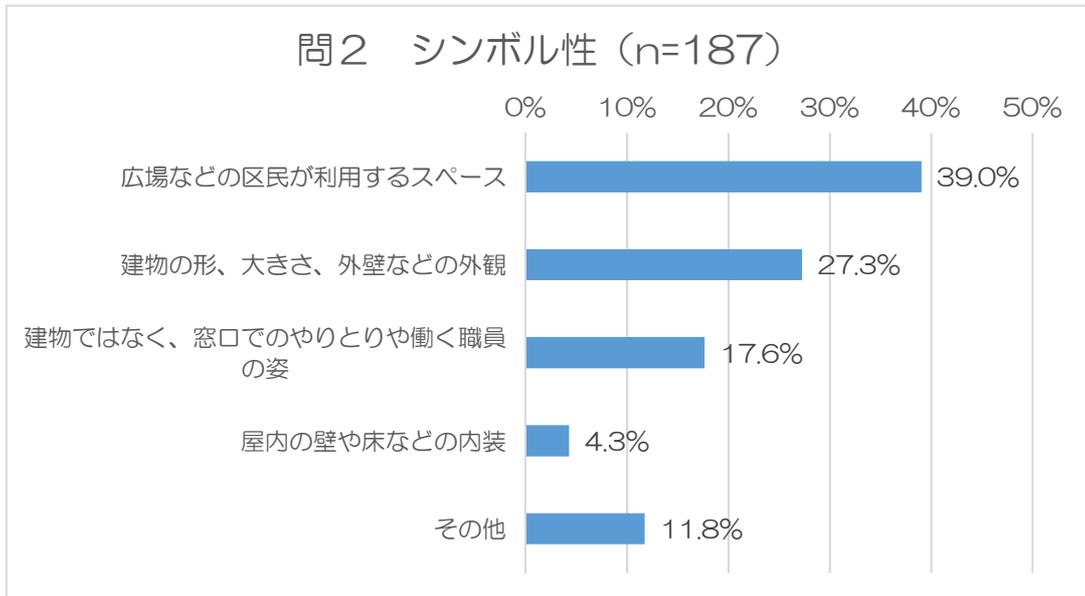
※パーセンテージは、回答総数 194 件に対する割合です。

区からのコメント

整備基本方針は、基本計画を進めるための基本的な考え方です。災害対策、まちづくりとの連携、新しいサービスや協働に関しては、回答者の約6割、にぎわい、発信と交流、環境性能に関しても、回答者の約3割の共感いただいています。

◇問2 シンボル性

新庁舎建設基本構想の頃から、めざすべき庁舎像の1つとして「北区のシンボルとなる庁舎」を掲げていますが、北区のシンボルであることを、どんなかたちで表現するのが良いと思いますか。(1つ選択)



主なその他ご意見

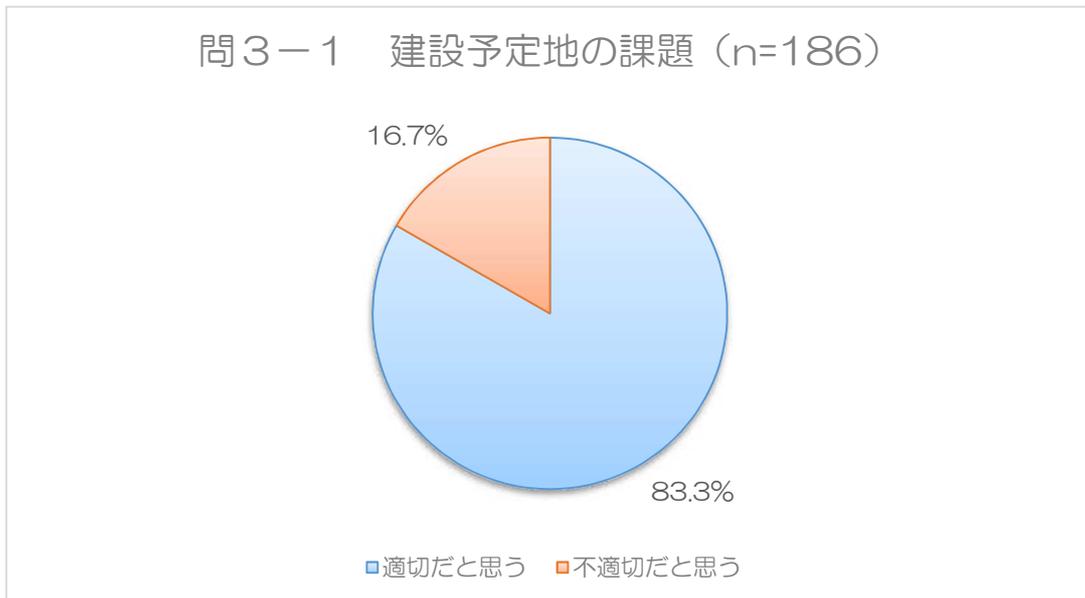
- ・窓口をよくしてほしい 類似 6 件 (3.2%)
- ・敷地の選定や新築に反対 類似 4 件 (2.2%)
- ・駅周辺アクセスをよくしてほしい 類似 2 件 (1.1%)

区からのコメント

新庁舎は、広場等のスペースやそこでの活動、建物の外観や働く職員の姿勢等の有形無形のシンボル性が期待されています。また、新庁舎のみならず、駅周辺とのアクセスや景観への配慮も含め、北区の顔としてふさわしいシンボル性を考えていきます。

◇問3-1 建設予定地の課題

建設予定地における重要な課題として災害への対応とにぎわい創出の2つと捉えています。どう考えますか。(1つ選択)



◇問3-2 不適切だと思う方へ よろしければ具体的にお教えてください。

主な不適切ご意見

- ・敷地の選定や新築に反対 類似 17件 (9.2%)
- ・災害への対応は適切だが、にぎわい創出は不適切 類似 12件 (6.5%)

区からのコメント

不適切とされたご意見は、主に上記の2つです。

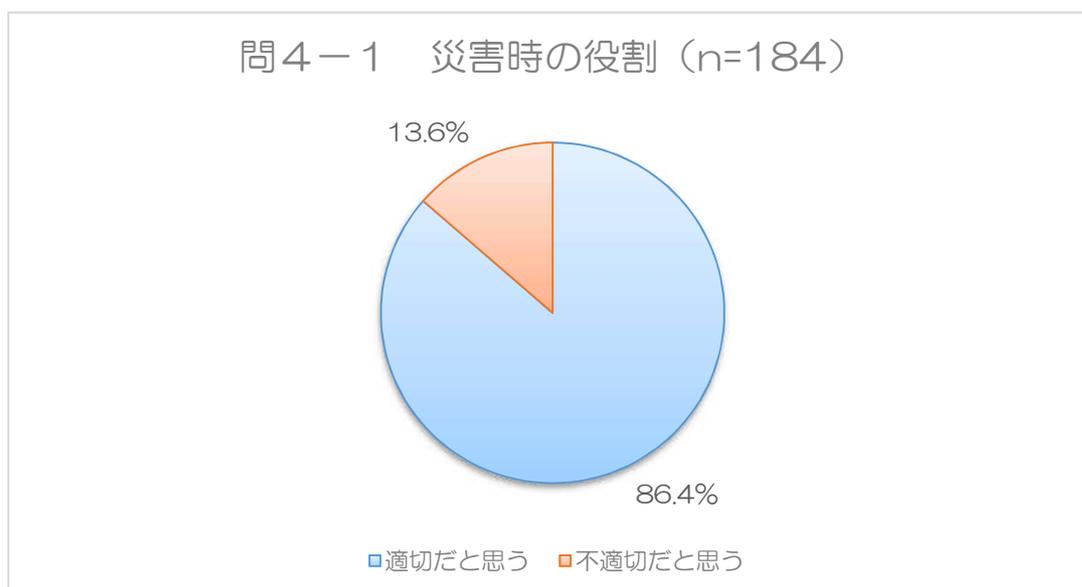
敷地・新築に反対というご意見から、中間のまとめでは、いままでの経緯やねらいが分かりにくかったことが確認できました。策定時には、より分かりやすく記載していきます。

にぎわい創出が不適切というご意見から、にぎわいのイメージやねらいが分かりにくかったことが確認できました。新庁舎整備とあわせて、王子駅周辺の可能性を最大限に生かせるよう、まちづくりと連携しながら、にぎわい(人が集まり、活気があること)を創出していきます。

■庁舎に備える機能

◇問4-1 災害時の役割

災害時における主な庁舎の役割は災害対策本部であり、避難所ではありませんが、避難行動時において適切な場所に避難するまで一時的に身を寄せる可能性についても配慮することとしています。このことについて、どう思いますか。(1つ選択)



◇問4-2 不適切だと思う方へ よろしければ具体的にお教えてください。

主な不適切ご意見

- ・避難場所という考え方は不適切 類似 9 件 (4.9%)
- ・敷地の選定や新築に反対 類似 7 件 (3.8%)
- ・防災拠点機能、安全性を確保してほしい 類似 4 件 (2.2%)

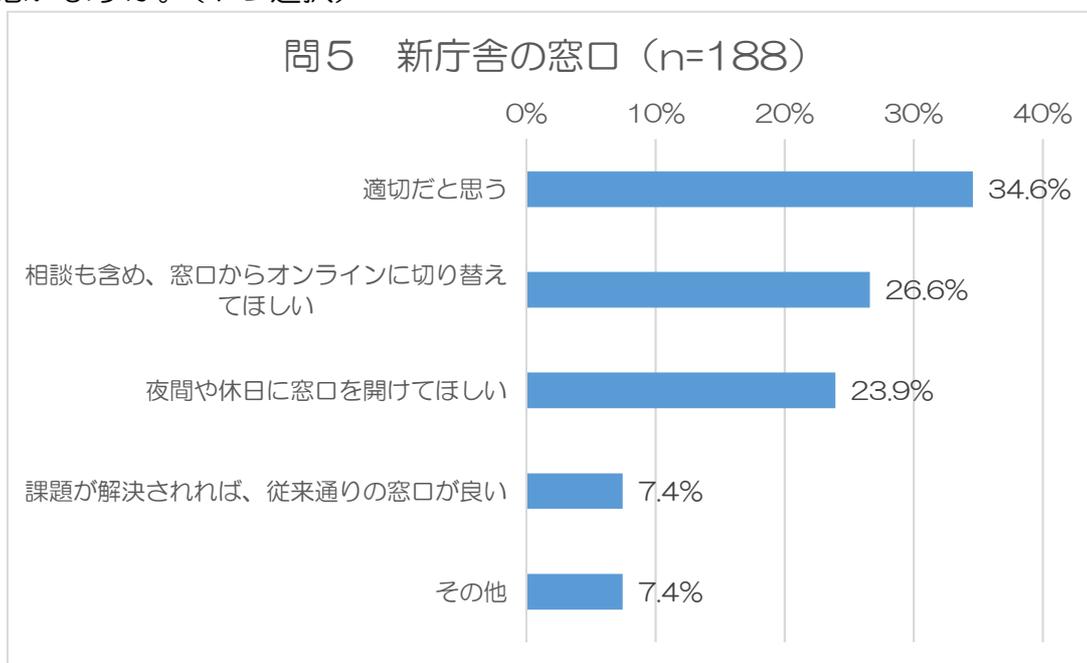
区からのコメント

新庁舎の災害時の役割として、災害対策本部の機能や生活総合相談窓口等が想定されます。必要な業務継続のため、来庁者と職員の動線分離やセキュリティレベルの適切な設定等を目指します。

なお、庁舎は避難所等には指定されていませんが、避難行動時において適切な場所に避難するまで一時的に身を寄せる可能性についても配慮します。具体的には、地震時の避難所への避難時の休憩や、水害時の高台への避難経路地としての役割等を想定しています。災害対策本部機能の確保が最優先のため、何日も滞在することは想定しておりません。

◇問5 新庁舎の窓口

来庁しなくても様々な手続きができるようになると考えられる中で、新庁舎では窓口における相談機能の充実に重点を置くことにしています。このことについて、どう思いますか。(1つ選択)



主なその他ご意見

- ・おおむね適切だが、よりオンライン対応してほしい 類似 5 件 (2.8%)
- ・オンラインに対応してほしい 類似 5 件 (2.8%)
- ・オンラインも夜間も対応してほしい 類似 4 件 (2.2%)

区からのコメント

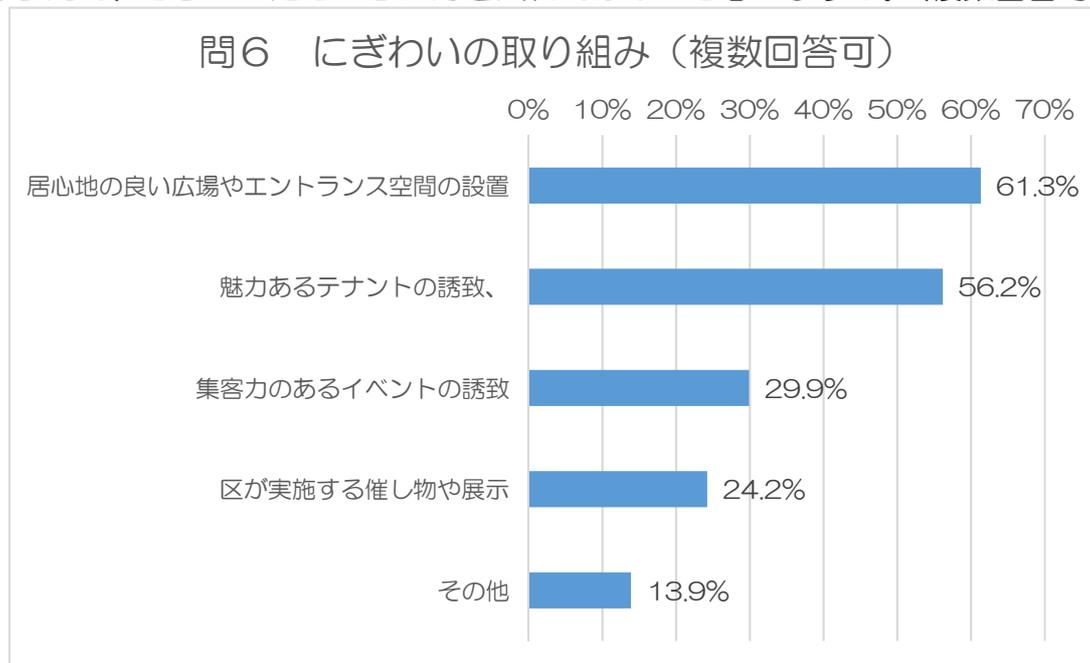
あらためて、多様化するライフスタイルへの対応として、来庁しなくても様々な手続きができるようになることへの期待が高いことが確認できました。

現在、北区では電子申請など、オンラインでの手続きの取組みを進めています。新庁舎が開庁するまでに、従来では来庁しなければならなかった手続きが、利用者が希望する場所、手段で行えるようになる等、区民サービスのあり方が変わっていることが想定されます。

そうした中で、新庁舎では、来庁を希望する方のために、相談機能の充実や、利便性が高くプライバシーが守られた、快適な環境づくりに重点を置き、来庁者が「来て良かった」と感じることができるサービスを提供することを目指します。

◇問6 にぎわいの取り組み

新庁舎の低層部ではにぎわい創出に取り組むこととしています。今後具体化を進めるうえで、こういったところに力を入れてほしいと思いますか。（複数回答可）



※パーセンテージは、回答総数 194 件に対する割合です。

主なその他ご意見

- ・にぎわいは不要だ 類似 4 件（2.0%）
- ・災害時に使える広場がほしい 類似 3 件（1.5%）
- ・子どものためのスペースがほしい 類似 3 件（1.5%）
- ・Wi-Fi 環境を整えてほしい 類似 3 件（1.5%）
- ・駅周辺アクセスをよくしてほしい 類似 2 件（1.0%）
- ・カフェがほしい 類似 2 件（1.0%）

区からのコメント

にぎわい創出が不適切というご意見から、にぎわいのイメージやねらいの分かりにくさが確認できました。

令和 4 年度末策定予定の「王子駅周辺まちづくりガイドライン」では、新庁舎建設予定地が、「拠点形成エリア（商業・業務・住宅等の複合的な土地利用により高度利用を促進し、王子の顔にふさわしい、魅力ある拠点形成を図るエリア）」に位置し、さらに、優先的に事業化を図る「先行実施地区」の中で、重要な核となる事業の一つとして位置づけられ、まちづくりの効果を周辺に波及させることが検討されています。

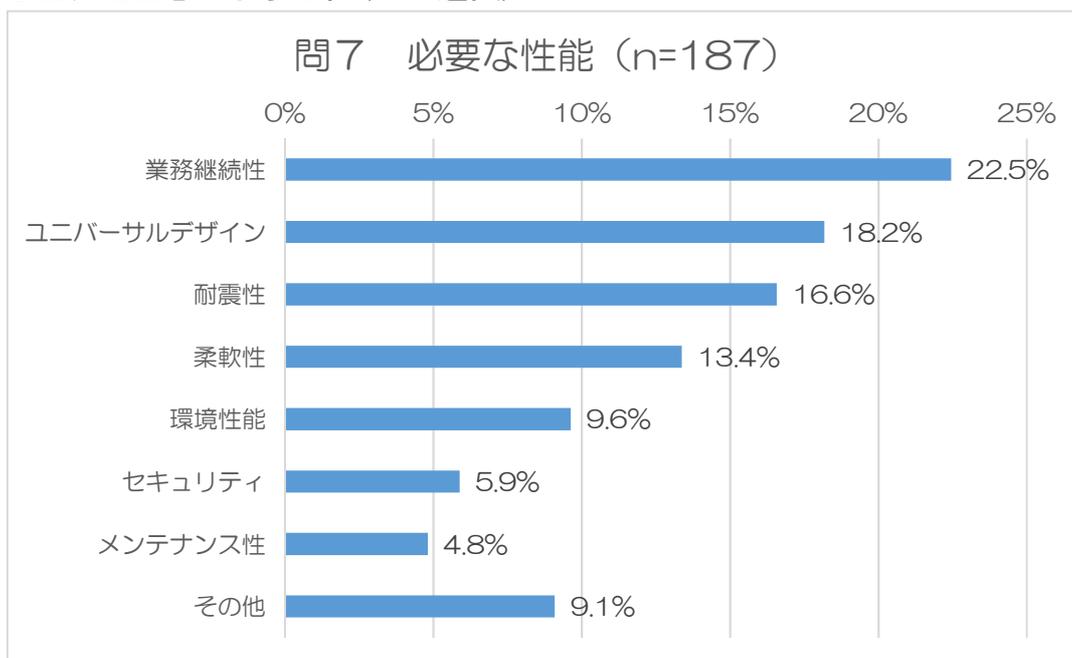
また、多様な人々が集まり利用することを通じて、北区との関わりを深めながら豊かなライフスタイルを実現できること、さらには王子駅周辺の価値が高まり、全ての人にとって「きたくなる庁舎」となることを目指します。にぎわいの場と憩い

の場を提供し、人々の交流を促すために低層階及び屋外空間を活用し、快適性とデザイン性において質の高い環境を整え、魅力ある機能を導入します。

■庁舎に必要な性能

◇問7 必要な性能

新庁舎に必要な性能として 7 つの内容を記載しています。特に力を入れるべき性能はどれだと思いますか。(1 つ選択)



主なその他ご意見

- ・DX を推進させてほしい 類似 5 件 (2.6%)
- ・すべて力を入れてほしい 類似 2 件 (1.1%)
- ・敷地の選定や新築に反対 類似 2 件 (1.1%)

区からのコメント

中間のまとめでお示した新庁舎に必要な性能は、いずれも新庁舎の整備にあたって目指すべきものです。

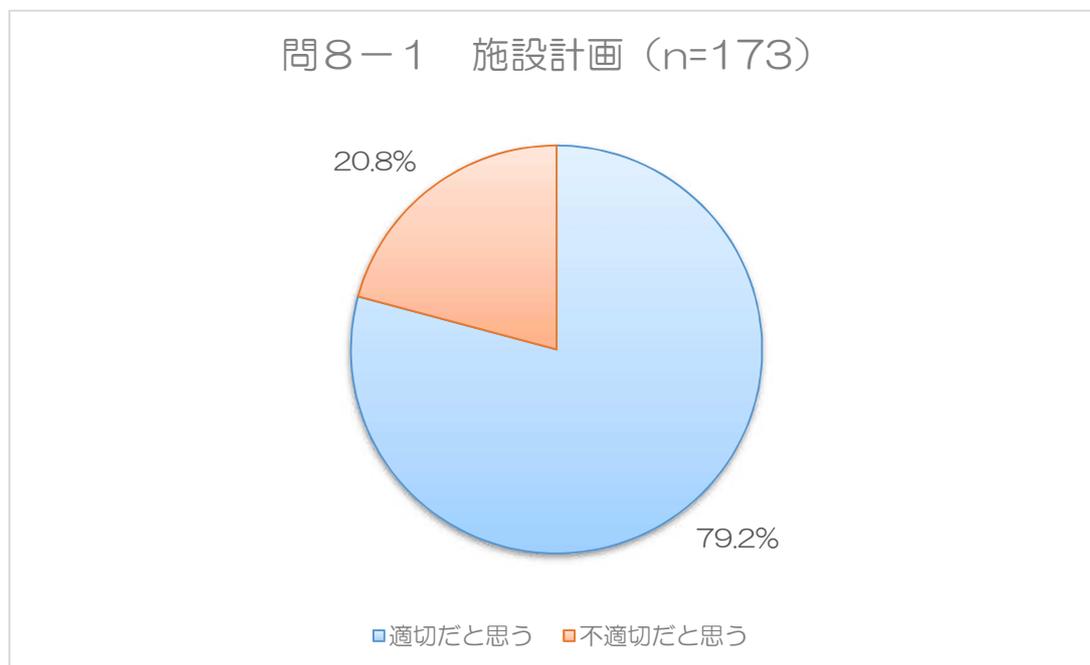
その中で、災害時の業務継続性に関心が高いことが確認できました。新庁舎建設をきっかけとした、王子駅周辺の災害対応力の高いまちづくりについても整理・検討いたします。

ユニバーサルデザインをはじめ、その他の性能についても、新庁舎建設の基本理念「人と環境にやさしく、区民に開かれた 北区のシンボル」や、整備基本方針を具体化するものとして、実現に取り組んでまいります。

■施設計画

◇問8-1 施設計画

今回条件設定された施設計画（配置予定部署、職員数、庁舎の規模等）について、どう思いますか。（1つ選択）



◇問8-2 不適切だと思う方へ よろしければ具体的にお教えてください。

主な不適切ご意見

- ・正しいかどうか判断できない 類似 6 件 (3.6%)
- ・規模はもっと大きいほうがいい 類似 4 件 (2.4%)
- ・規模はもっと小さいほうがいい 類似 4 件 (2.4%)
- ・敷地の選定や新築に反対 類似 4 件 (2.4%)
- ・職員数を減らしたほうがいい 類似 3 件 (1.8%)

区からのコメント

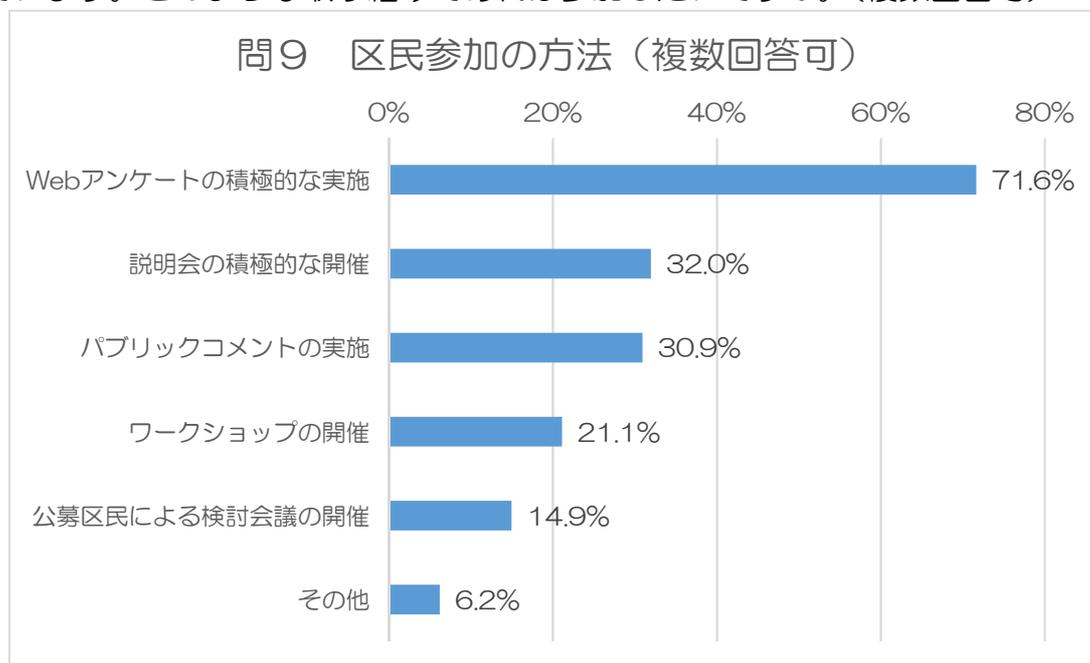
令和3年10月の「北区人口推計調査報告書」において、総人口は35～36万人程度のまま、今後20年程度は推移する見通しです。行政需要が変化する可能性も考えられることから、現時点の職員数をベースとする必要があります。

新庁舎規模は、新しい技術や制度の活用が進み、将来的に窓口が縮小していることも考えられますが、一方、多様化している行政需要に応えるためには、プライバシーに配慮した相談スペース等の充実は必要だと考えます。柔軟性を備えるためにも一定の規模が必要です。

■その他

◇問9 区民参加の方法

今後も区民の皆さまのご意見を伺いながら、新庁舎の整備を進めていきたいと考えています。どのような取り組みであれば参加したいですか。（複数回答可）



※パーセンテージは、回答総数 194 件に対する割合です。

主なその他ご意見

- ・オンラインで説明会を開催してほしい 類似 3 件（1.5%）

区からのコメント

今回の中間のまとめでは、北区ニュース特集号の全戸配布、北区公式ホームページへの掲載、SNS の活用、図書館や地域振興室での閲覧とあわせて、説明会を開催いたしました。説明会は、複数日程を設定した一方、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、施設の利用定員よりも少ない人数で開催することといたしました。また、より多くの区民の皆さまのご意見を頂くため、従来の郵送、ファクス、Eメールに加え、Web アンケートを活用することといたしました。

今後の進捗状況のお知らせ方法に関しましては、ご意見を踏まえ取り組んでまいります。

【おわりに】

東京都北区新庁舎建設基本計画の策定に向けて、広く区民の皆さまのご意見を頂くため、この度、「中間のまとめ」として現在の検討内容を取りまとめました。皆さまのご意見から、伝わりにくい部分等が把握できました。ありがとうございます。

令和 4 年度末の策定に向けて、引き続き、新庁舎建設に関する進捗状況についてお知らせするとともに、区民の皆さまのご意見をお伺いする機会を設けてまいります。よろしくお願い申し上げます。